



第2号は、本校の教頭からの挨拶、安全確保及び危機管理について、地域との教育活動について、ふよう祭について御紹介いたします。学校内での取組や児童生徒の様子、校外での活動の様子を知っていただき、今後も児童生徒へのご理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



「地域で学ぶ」

教頭 中田 芳幸

本校の教育に御理解・御協力をいただきまして感謝申し上げます。

今回は、小学部が地域で取り組んでいる「散歩学習（1～4年生）」「徒歩学習（5・6年生）」を紹介させていただきます。学年等によって目的が変わりますが、教師や友達と手をつないで歩くことや、交通ルールを守り、安全に歩くこと、季節を感じて自然に触れること、歩くコースに見通しをもち、目標の距離を休まずに歩くことなどをねらいとしています。

子どもたちが歩くコースには地域の施設等の名前が付けられていて、富屋小学校コース、いちご看板コース、イケダコース、クレーン車コース、ファミリーマートコース、ろまんちっく村コースなどなど。子どもたちの体力等に合わせてコースを選択しています。

地域の皆さまに励ましの声を掛けていただくこともあり、大変ありがたく感じております。今後も、元気に歩く子どもたちの応援をよろしくお願いいたします。



「地域活動をとおして」

教頭 平山 道子

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

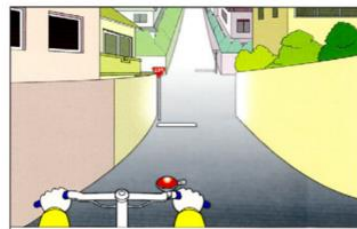
教育目標の「社会で自立的に生きていく」ことを目指す上で、地域とのかかわりをとおして、人と触れ合う楽しみや互いに支え合うことを学ぶことは、とても大切です。今年度、新たな地域活動の一つとして、高等部生が、登下校で利用しているバス停の清掃活動を行いました。毎日利用しているバス停への感謝の気持ちを込めて、除草やバス停の拭き上げを一生懸命行いました。その様子を御覧になったバス会社の方からお礼のお言葉をいただき、生徒たちも些少なながらも地域に貢献できた喜びを味わうことができました。

これからも、富屋地区の皆様の御理解と御協力をいただきながら、充実した教育活動を実践できるよう努めていきたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

「生徒指導部より～交通安全への取組～」

高等部では路線バスや自転車での自主通学で登校している生徒がいます。自転車での通学生徒が6名、路線バスの通学生は23名です。交通安全の意識を高め、公共交通機関を利用する上でのマナーの向上を目指しています。自転車での自主通学者に対して月に一回、自転車の点検と交通ルールの意識や危険を予知して回避する力を高める道路標識の学習、危険予測学習を実施しています。自転車の空気圧や反射材の有無など、点検表をもとに教員と一緒に確認します。また、学習教材を活用して交通状況の読み取りや危険の予測を学習します。関東バスでの通学者はバス乗車まで教員が付き添って安全に下校できるようにしています。下校前には教員から「交通安全」に関わる話をし、公共交通機関のマナーの向上を図っています。



「ふよう祭、UPDATE 中」



～みんなでつなぐ えがおあふれる ふようさい～

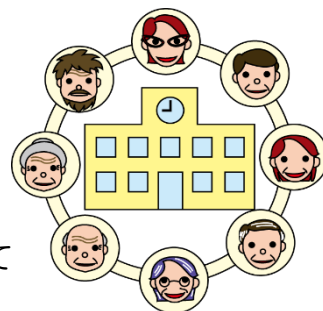
小学部から、高等部まで全児童生徒が一堂に会し、そして保護者等様をはじめ来賓の方々や多くのお客様を迎えて盛大にふよう祭を開催したのが、令和元年でした。あれから4年・・・形を変えながら、その時できる形を模索して、中止という選択をすることなく、毎年開催して御理解と御協力をいただいた皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

さて、今年度のふよう祭は、小学部で2学年ずつの開催、中学部・高等部では、保護者等様の学部制限をなくしての即売会及び受託販売を行いました。折しもインフルエンザが猛威を振るい、急遽日程を変更した学年もありましたが、元気いっぱい笑顔あふれる、ふよう祭になりました。



令和6年度はどんなふよう祭になるのでしょうか。保護者等様だけでなく、たくさんの方に来校していただき、児童生徒一人一人の学習の成果や、成長の様子、そして輝くえがおをお届けすることができるふよう祭になるよう、まだまだUPDATEしていきますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

「地域とともにある学校づくり」を進めるために



前号では、なぜ今、学校と地域との連携・協働が必要なのかをお伝えしました。

本校では、「社会に開かれた教育課程」の実現のため、各学部はもとより、各校務分掌部ごとにも、地域との連携・協働による事業を展開しています。

例えば、特別活動部交流教育係では、各学部での学校間交流を実施して、本校の児童生徒が当該学年の他校の児童生徒との交流を進めることにより、交流校の児童生徒が本校の理解を深め、また、本校の児童生徒においては、地域で共生していく礎を築く一助になっています。

また、渉外部地域連携係は毎年「学校支援ボランティア」養成講座を開講し、一般の方に本校を理解していただき、将来本校での学校行事支援や学習支援を行える基礎を学んでいただいています。本年度も、富屋地区の各自治会に開催要項の回覧をお願いし、御覧になった地域の方を含め14名の方に受講いただきました。講座を修了された12名の方々には、本校の学校支援ボランティアとして新たに登録していただきました。活動は次年度からになりますが、年々活動していただくボランティアさんも増えているところです。

高等部で実施している地域の企業や地区市民センターなどで行っている就業体験活動も、地域との連携・協働により本校生徒の理解を深めていただくことで、生徒も地域で活動し、自分が地域の一員となって活躍できるという自信につながる相乗効果を生んでいます。

以上のように、社会においては「学校での学習活動は学校の中だけで、地域での活動は地域の中だけで完結する。」というものではなく、それぞれが連携と協働によって成り立つことが重要になってくるのです。